

Title	前号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1957
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.50, No.3 (1957. 3) ,p.162(14)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19570301-0014">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19570301-0014</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

るに従つて、そこに試みられた把握と方策とはかなりの差異をもつて現れて来る。農書が各地で書かれ、地方地方で、そこに適合する技術の考察が進められた、と同時に、當時においてもつとも重要な問題として、貨幣制度、物價、米價の變動等により蒙る影響に關しての考察がなされて行つたことも少しも不思議ではなかつた。もちろん、すでにふれたごとく、事實の敘述が主であつて、さらに進んで事物の本質を洞察する努力は比較的少く、それらの本質を科學的に分析把握することが行われるに至るのははるか後のことにぞくした。

(一九五七・一・一四)

三田學會雜誌

第五十卷 第二號 目次

論 說

世界爲替政策の動向と若干特徴……………金原賢之助  
生産性指數と分配の問題……………鈴木諒一

古典學派の崩壊と

「賃労働」分析の轉換……………井村喜代子

資 料

安定均衡の經濟表に就て……………渡邊建

——ウーグ博士の『フランソワ・ケネーの經濟表』を中心として——

學界展望

一九五六年下半年の國際經濟學……………白石孝

書評及び紹介

穂積文雄著『英國産業革命史の一斷面』……………飯田鼎

有澤廣巳編『統計學の對象と方法』……………佐藤保

經濟學關係文獻目錄

近世關東における農村奉公人賃銀の研究

速 水 融

- 一 序 論
- 二 史料について
- 三 賃銀の變化
- 四 賃銀支拂の形態
- 五 むすび

一 序 論

物價・賃銀史の研究は、それが困難であるが故に、戦後大いに發展をみせた經濟史の研究において見落されていた分野の一つであると言える。それが如何に困難であるかは、ただ研究に必要な金錢上の問題であるばかりではなく、むしろそれ以上に、非常に長い時間と、莫大な、そして又質的にも優れた史料を必要とするからである様に思われる。それも實際上物價や賃銀の測定を必要とし、且つ近代的な統計が一應揃つた社會ではなく、そう言つたものの存在の僅少な明治以前の如き封建社會においては尙更困難である事は論をまたない。従つて、戦後において、この問題に關するままとつた論

近世關東における農村奉公人賃銀の研究

著が、『近世後期における主要物價の動態』(三井文庫編)一冊のみであるのも當然であるとも言える。ところでこの著書は、三井家の大阪兩替店で作成された「諸相場之控」を基礎資料として表示されたいくつかの表から成つてゐる。従つて、ここに示された物價は、三井家という大商人の手を経て、大阪(その他江戸、京都も若干含まれてはいるが)で取引されている商品相場の報告を集成したものである。このことは、この資料の性格を明白に物語るものである。即ち、それは都市における取引相場であつて、しかも直接消費者に對する小賣價格ではない。それ故、我々が農村史研究の立場からこの資料を取扱う場合にはいくつかの前提が必要となるのである。それは、大阪という中心市場における取引の價格が、消費地のそれ、或いは生産地のそれとの間に如何なる關係を持つてゐるかと言ふ事が明らかにされねばならぬし、又、中央の市場における物價の變動が地方における變動と如何なる關係に立つかについても明らかにしておく必要がある。

この事は、物價・賃銀史の研究が、ただ單にその金額や變化のみ